

事例報告の要約

分科会：まちづくり系ボランティア

団体名(会員数) みやま市南校区 まちづくり協議会	(団体の住所/連絡先) 〒835-0019 みやま市瀬高町大江671 みやま市瀬高農村環境改善センター内		
	(電 話)	(FAX)	(活動範囲)
	0944-62-4817	0944-62-4817	南校区内
事例報告者	会 長 辺 春 英 雄		
(タイトル)	みなみ子ども広場と まちづくりボランティア		
<p>みやま市は、旧山門郡瀬高町、山川町、旧三池郡高田町が合併して誕生し、4年になります。南校区は、旧瀬高町の南にある学校区です。</p> <p>2002年(平成14年)学校週5日制の実施を受けて、「地域で何かやりましょう!」という声があがりました。「あれやりましょう!」「これやりましょう!」といったいろいろな案が出てきたので、年間を通じてやることとし、「南校まちづくり協議会」を立ち上げ、「みなみ子ども広場」を開設し、子ども支援のボランティア活動を毎週土曜日を中心に、それぞれ持ち味を生かし活動することとしました。</p> <p>この協議会は、2005年(平成17年)旧瀬高町における「校区単位のまちづくり」のモデル校区指定を受け、その後10年先を見通したビジョンづくりに取り組むなど、2年間の準備期間を経て、実際の協議会活動が始まりました。</p> <p>南校区には、まちづくり協議会の構成員で、18年前から公民館が中心となって活動を続けている地域づくり学級「さざんか学級」という学級生30人余りの大人の学級がありました。</p> <p>今では、「さざんか学級」も南校区だけでなく隣の校区からの参加希望者もあり、200名を超える状況です。これも「まちづくり協議会」が発足して、ボランティア活動を行なう中で各団体間の交流が始まり、子どもたちも集まるようになったことが「さざんか学級」の増えた理由のようです。</p> <p>「みなみ子ども広場」は、年度初めに開校式を行ないませんが、これには「さざんか学級」の各コースの学級生を始め、区長会、食進会、女性倶楽部、育成会、PTA、JA女性部などまちづくり協議会の構成団体の皆さんが参加します。なかでも最も頼みとなるのが、行政区長会の方々と農協女性部の方々です。</p> <p>(1) 「みなみ子ども広場」での具体的な活動を紹介しますと</p> <p>○「さざんか学級」の学級生は、子どもたちに囲碁、将棋、大正琴の指導や、さらに押花教室では、自分たちの教材までを提供して教えてくれます。</p> <p>○区長会からは、農業体験の提案があり、田植えから稲刈り、竹とんぼ、凧つくりや注連縄づくり教室なども開きました。</p> <p>7畝(アール)余りの田んぼに餅米を植え、収穫したら餅つき大会をやりました。余った餅米は、ボランティアさんに安く販売し、その収益は協議会の資金とします。</p> <p>○食進会の方は、年に3回位、親子集っての料理教室を開いています。校区の社会福祉協議会も加わり栄養士も参加され、材料費持ちでの教室が開かれています。</p> <p>○JA女性部もボランティア活動に参加し、機材を提供しての料理教室の開催や味噌づくりを教えています。また、みやま市の行事に参加して、パン作り教室を開き、揚げパン、蒸しパンを作り販売しました。</p> <p>○校区内の有志のなかには、いろいろな趣味を持った方々がおられ、「ボランティアをお願いできませんか?」と、声をかけると「いいですよ」と快く参加していただいております。</p> <p>例えば、</p> <p>① 「茶の湯の愛好者」に声をかけたら、7~8人が参加していただき、年に3回、子ども向けの茶の湯教室を開いてもらっております。</p> <p>② 「折り紙などの愛好家たち」は、七夕祭りに折り紙を使ったミニコンサートを開いたり、女性倶楽部の方と一緒に子どもの歌を歌ったり、オカリナの演奏を指導してくれます。</p>			

(タイトル)

みなみ子ども広場と まちづくりボランティア

- ③「読み聞かせ団体」にも参加していただき、ダンボールを利用した紙芝居教室を開いてもらい、昔話や創作話などの読み聞かせをお願いしています。
- ④ 校区内の「生け花の先生」も参加され、フラワーアレンジメントをやってみようということになり、自分の家の周りにある草花を使って豆腐パックに活けた「トーフパックオアシス」という 見事な生け花が出来上がりました。年に、3回指導してもらっていますが、花を活ける過程の子ども達の生き生きとした顔つきは印象的で、「家で、みんなに見てもらうんだ！」という意気込みが感じられるものです。
- ⑤ 「編み物の先生」による編み物教室もあり、編み棒で編むのではなく、指を使って編むので 低学年の子どもでも直ぐに覚え、楽しい編み物教室となっておりいろいろなものを作っています。編み物教室は、先生のお弟子さんも加わって、年 2回行なっています。
- ⑥ 地元の人たちが関わっている「青年アンビシャスリーダー」や「NPO法人科学の公園」というグループがありますが、この方達の指導で、野外トレッキングや科学遊び工作教室を開いています。野外トレッキングでは、牛乳パックにウインナーを詰め込み、火をつけ燃え尽きたら こんがり焼けており子ども達は大喜びでした。科学遊び工作教室では、ジャンボシャボン玉づくりなどで楽しんでおります。
- ⑦ この他に、ソフトボールクラブの監督が、グリーンソフトボール(やさしいソフトボール)教室を、年 2回は開いています。

(2) 閉校式が一緒にできた。

3月の校区文化祭が終わると、これまでは「みなみ子ども広場」と「さざんか学級」は、別々に閉校式をやっていましたが、この活動を始めて4年目にしようやく一緒に閉校式をやるようになりました。しかも嬉しいことには、「さざんか学級」に属していない団体の方も参加してもらい、大人、子ども共々一緒になって閉校式を楽しんでおります。

(3) その他のボランティア活動について

まちづくりボランティアの活動は、この外に、小学校支援ボランティアとしても活躍しています。

○小学校からの協力要請を受け、総合学習の中で指導しているものとして

① ミシンの使い方の指導

「さざんか学級」で洋裁が達者な多くの人たちに行ってもらいましたが、「子どもと一緒に楽しかった」と喜んでいただいております。

② 農業体験実習

「子ども広場」でやっている農業体験を授業に取り上げたいとの協力要請で、行政区長会の皆さんが、種まき(苗づくり)から田植えまで、現場に赴いて指導してもらいました。

“収穫も昔ながらの方法”をということですが、全部は大変なので、一部、昔ながらの道具を使ってやってみようかと考えております。

○自主的な活動として

① 花壇の手入れ

小学校の敷地は広く、花壇も多く草茫々で、草取りや花壇の手入れに取り組んでおります。

② 子ども安全見守り隊

まちづくり協議会の活動の中でも大切なものの一つに、児童の登下校時の「子ども安全見守り隊」などの活動があります。警察と連絡をとりながら、「110番の家」に駆け込む訓練などをやっておりますが、日頃の活動として、「110番の家」であることの認識を高める目的で、親子一緒に花を育て、その花を「110番の家」に置かせてもらう運動などをしております。